

平成29年度 第3回 学長選考会議議事要録

日 時：平成29年7月31日（月）13：30～14：30
場 所：事務局第1会議室
出席者：柳生委員（議長）、小田部委員、種田委員、福地委員
佐川委員（人文社会科学部長）、生越委員（教育学部長）、
折山委員（理学部長）、馬場委員（工学部長）、久留主委員（農学部長）、
木村委員（全学教育機構長）
欠席者：三浦委員、山口委員

議 題

審議事項

- 1 学長の業績評価について
- 2 学長候補適任者意向聴取委員会委員の推薦及び選出について
- 3 その他

議 事 概 要

I 議事要録の確認

議長から、平成29年度第2回学長選考会議議事要録については、既に大学ホームページに公表済みである旨の報告があった。

II 審議事項

1 学長の業績評価について

議長から、本日は学長によるプレゼンテーション及び質疑応答、委員による意見交換を行うこと、後日、各委員からの評価コメントを提出いただき総合評価書の原案を作成し、その原案を各委員へ送付すること及びいただいた意見を参考にしようえで、最終決定した総合評価書を議長より学長へ伝達し、併せて大学ホームページ上で公表することについて説明があった。

(1) 学長のプレゼンテーションについて

学長から配布資料に基づきプレゼンテーションを行なった。

(2) 学長との質疑応答について

学長と学長選考会議委員による質疑応答がなされた。

【主な質疑応答】 ○委員 ●学長

- 財務改善計画について、理工系は外部資金を得やすいと思うが文系で外部資金を得るための策はあるか。また、同窓会など外部団体からの寄附や協定などの取組はあるか。
- 例えば外部資金（科研費）を獲得すると、30%を間接経費として大学の諸経費として使用できる仕組みがある。

文系でも大型の科研費を得られるものがあり、現在、本学で一番大型の科研費を獲得しているのは人文社会科学部の研究であり、産学共同研究で外部から委託される研究では自治体から地域の課題について研究を行なって欲しいなど、技術系の開発研究とは違った分野の研究依頼もある。このような各分野で獲得した間接経費を全学的に集めて、各学部の必要なところへサポートしていくこととなっている。

また、基金や寄附については同窓会と連携し大学に協力してもらうようお願いをしている。

- 茨城大学コミットメントは、学生や保護者が大学で学ぶべきことがコンパクトに説得力のある形でまとまっていてとても良い。今後も継続的に実践していくことが大事だが、これによる成果がどういうところに現れていると考えるか。

また、入学志願者の減少とその対応について、大学と県内高校の連携や入試改革を具体的にどのように作りどのように進めて行くのか。

- 学生、保護者をあわせて4,000名が集まる入学式において、学生に勉強の展望を与えることを目的に作成し配付したが、学生たちに内容をよく理解してもらえよう、学生や教職員で共有する仕組みをもう少し工夫する必要がある。しかし、茨城大学コミットメントの黄色い本があるという最低限の共有認識のベースは出来たと考える。

県内高校との連携については、平成28年度から高校の校長先生と意見交換を行なうための高大接続協議会を開始した。また、入試改革の大きな目的は大学の入試を変えることにより大学の教育と高校の教育を変えることを目的としているため、入試だけではなく高校と直接の交流を行なうことを考え、県立高校や私立高校の協議会と連携し、大学全体として公開講座を開催することとしており、県立・私立の区別なく高校との関係を強化したいと考えている。

- ・業績評価に関する意見交換
業績評価に関する意見はなかった。

2 学長候補適任者意向聴取委員会委員の推薦及び選出について

議長から、学長候補適任者意向聴取委員会委員の推薦及び選出について審議願いたい旨の提案があり、茨城大学学長選考における意向聴取実施要領の第2条第1項第1号における委員は学長選考会議の学内委員6名を選出することが承認された。

3 その他

次回は10月24日(火)13:30から開催する。